

TOHATSU

PARTNER

2012年1月1日発行/新年号

VOL.85



PHOTO:第20回全国女性消防操法大会(滋賀県新庄中町女性消防隊)

CONTENTS

- | | |
|------------------------------------|---------------------------------------|
| ●年頭ご挨拶..... P2 | ●勝どきマリナーで秋のボート試乗会..... P5 |
| ●トーハツ(株)金子社長 全国消防機器協会会長表彰を受賞... P3 | ●江戸川区の桑川親和会へ「VF63AS」搭載の積載車納入... P6 |
| ●岩手県宮古市へ「VF53AS」8台納入..... P3 | ●和歌山市へ「VF53AS」搭載の軽積載車一括納入..... P6 |
| ●岩手県住田町へ可搬ポンプ一括納入..... P3 | ●三輝物産(株)ご一行が駒ヶ根工場見学..... P6 |
| ●福島県田村市へ積載車など一括納入..... P3 | ●岐阜県の消防団幹部が駒ヶ根工場見学..... P6 |
| ●第20回全国女性消防操法大会..... P4 | ●トーハツポンプ中央会秋期総会后ベトナム・ハノイへ消防視察旅行... P7 |
| ●横浜ポートフェア2011..... P4 | ●北海道トーハツポンプ会総会開催..... P7 |
| ●関西フローティングボートショー2011..... P4 | ●最先端に行く「危機管理産業展」..... P7 |
| ●トーハツポンプ中央会セールス研修会..... P5 | ●中部地区サービスパイロット店技術講習会..... 裏表紙 |
| ●九州・山口トーハツポンプ会が技術講習会..... P5 | ●九州でパイロット店向け技術講習会..... 裏表紙 |
| ●兵庫県で消防団の機関員講習会..... P5 | |



トーハツ株式会社

<http://www.tohatsu.co.jp>

年頭ご挨拶



トーハツ株式会社
代表取締役社長 金子 満

平成24年の初春を寿ぎ、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。
日頃より「パートナー」をご愛読頂いている皆様をはじめ、ご支援を賜っております多くの方々に感謝を申し上げます。

昨年、平成23年は、日本という国が多大な試練にさらされた激動の年でありました。

ことに、3.11東日本大震災は、1000年に1度の激震、初めて目の当りにした大津波の圧倒的な恐怖、その後の大規模な原発事故と、災害には比較的強かったはずのわが国に大打撃をもたらしました。その爪跡はあまりにも深く、私たちの前には復興への遠く長い途が続いています。

私共、マリンと防災を両輪とするメーカーにとりましては、復興に向けての生産及び供給に取り組んだ年でございました。

一方、海外に目を向けてみると、年明けのニュージーランド、11月のトルコとあちこちで大地震が頻発、さらに日本での2週にわたる大型台風、タイにおける長期水害など、地震と水による災害が目立つ年でもありました。

また経済面では、欧米での不況が加速度的に進行。ギリシャの財政危機はイタリア・スペインへと飛び火し、米国でも社会不安による大規模デモが未だ止む気配を見せません。中東・アフリカ諸国は革命による変革の苦しみの中にあり、ほとんど唯一経済発展を続けているように見えた中国ですら、バブル崩壊の兆しを見せ始めました。特に先進諸国の先き行き不透明感は深刻で世界が暗雲に包まれてしまったかのようにも思われます。

その結果、未曾有の天災におそわれながら、過去に類を見ない円高ドル・ユーロ安が止まらないという皮肉な現象を呼びました。

この急激な、しかも長期の円高に加え、電力不足による企業活動の停滞、TPP 参画への期待と不安の錯綜等々、日本経済もまた世界の昏迷から不可避ではいられない状況です。

しかしその一方で、大震災直後に世界から寄せられた純粋な好意と支援、そして日本人への驚嘆や賞賛の声、我々を勇気づけてくれたこともまた事実でありました。絆という一字に思いをこめ、被災された方々に心寄せる日々の中で、節電にも増税にも大きな不満を唱えることなく、試練に対していたわりあい、肩を寄せる姿は、久しく忘れかけていた「日本人らしさ」への、良い意味での回帰だったようにも思われます。

ドミノ倒しの如きパラダイムシフトに世界が揺れる今、折りしも辰年を迎えて、この暗雲をつき破って飛翔する竜の子が、私たちの心の奥底で眠りから覚めはじめていると思えば、遠い復興への途にも一条の光が見えるのではないのでしょうか。

こうした中、私どもは今年会社設立80周年という節目の年を迎えました。

これまで支え、ご愛顧いただいたすべての皆様への感謝を日々新たにするとともに、このような年だからこそ、企業理念としております「社会貢献」をさらに推し進めるべきであると決意しております。

暗雲を払う竜頭とは言えずとも、持ち前のスピードを発揮して、竜の飛翔を担う一端に加われたらと願わずにはられません。

輝かしい1年を、と容易に言えない今ではありますが、だからこそ辰年の竜の暗雲を破る夢が、皆様にとっても正夢となりますようねがいつつ、年頭のご挨拶とさせていただきます。



トーハツ(株)代表取締役社長 金子 満氏「全国消防機器協会会長表彰」を受賞

消防機器業界等の発展に寄与された方々を表彰する「平成23年度消防設備関係労者等表彰式」が、去る11月4日、東京・信濃町にある明治記念館で行われ、トーハツ(株)代表取締役社長の金子 満氏がめでたく「全国消防機器協会会長表彰」を受賞されました。これは金子氏の長年にわたる業界発展への熱意と功績が認められたもので、大変栄誉ある受賞といえます。



表彰式には、同消防機器協会の関係者をはじめ消防庁長官、日本消防検定協会理事長、日本消防設備安全センター理事長など、200名余の消防関係者及び業界関係者が出席し、盛大且つ厳粛に執り行われました。表彰式を終えた金子氏など受賞者は、消防庁長官他、各理事長らと共に同記念館の撮影館で記念撮影。この日の秋空と同様に、晴れやかな気分でカメラに応じていました。この度の受賞、誠にありがとうございます。



復興と自主防災へ一丸 岩手県宮古市へ 「VF53AS」8台納入

壊滅的な被害をもたらした東日本大震災から10ヶ月。復興へ市民一丸となってスタートした岩手県宮古市では、「宮古市東日本大震災復興計画」を策定し地域におけるより一層の共助機能の強化を図るため、自主防災組織の育成・強化を進める「防災のまち協働プロジェクト」に取り組みられています。

こうした状況の中、去る10月27日、同市へ4ストローク小型消防ポンプ「VF53AS」8台を納入。これに伴い市職員及び消防関係者出席の下、納入式が行われ、次いでポンプの取扱い説明やテスト放水などが実施されました。運転操作に関わった消防団員の方々からは、操作性や静粛性などに感嘆の声が聞かれ評価は上々。同市では年度内に追加3台の購入を決定しており、地域防災の推進に大いに貢献するものと確信しています。

この度トーハツ4ストロークポンプをご採用頂きました宮古市、また販売にご尽力頂いた互光商事(株)様には誌上より厚くお礼申し上げます。(防災東北/中島)

福島県の阿武隈高原中央に位置する田村市へ、去る11月3日、ポンプ車1台、積載車7台、ポンプ付軽積載車3台、及び小型動力ポンプ「VC52BS」5台が、地元トーハツ販売店の(有)渡辺鉄工消防用品を通して一括納入されました。

納入に伴う式典、及び取扱い説明や保管時の注意事項などが行われた後、付近の河川敷で同市消防団員によるテスト放水を実施。納入されたばかりのVC52BSが、快調なエンジン音を響かせながら、水しぶきを天高く舞い上げていました。

田村市は大滝根川や高瀬川などが流下する緑豊かな高原都市。今後は市街地火災から山林火災まで、地域防災に大きく寄与することでしよう。トーハツポンプをご採用頂きました田村市、また販売にご尽力頂いた(有)渡辺鉄工消防用品様には、誌上より厚くお礼申し上げます。(防災東北/中島)

岩手県住田町へ 「VC52BS」「VC72PROII」 可搬ポンプ一括納入!



岩手県東南部の内陸に位置し、豊富な森林資源と木材加工施設が整備されていることから「森林・林業日本一」をめざしている住田町に、去る12月11日、「VC52BS」8台、「VC72PROII」6台が一括納入されました。納入に伴う引渡し式終了後、消防団員と共に河川敷へ移動して取り扱い説明や放水訓練などを実施。トーハツ可搬ポンプの最新機能と操作性に高い評価を頂きました。

住田町は、東日本大震災発生直後から近隣の大船渡市及び陸前高田市への支援活動をいち早く実施。また消防団員による行方不明者の捜索にも応援参加され、更に各団体による支援隊の後方基地として町内施設なども提供。救援に大いに貢献している町です。

この度トーハツポンプをご採用頂きました住田町、及び販売にご尽力頂きました(有)古川ポンプ製作所一関支店様には厚くお礼申し上げます。(防災東北/中島)



福島県田村市へ 積載車など一括納入

地元の期待を一身に担って 第20回全国女性消防操法大会開く



第20回全国女性消防操法大会が、去る10月19日、神奈川県横浜市にある消防訓練センターで行われ、各都道府県代表44チームが日頃の厳しい訓練の成果を披露しました。

女性消防隊の方々は、地元地域の安全と安心を守るため日夜活動しています。全国大会への出場が決まると、数ヶ月に及ぶ厳しい訓練を行い大会に臨みます。育児や家事に追われながらも、その合間に練習を行うため、家族の協力や関係機関の支援も大きな励みになります。

大会前日は競技中のトラブル防止のために、消防ポンプや機材などの点検・整備を入念に行い、完璧を期

します。また競技当日は、早朝から機材類の確認、ウォーミングアップなどを実施。万難を排して競技に挑みます。そして、いよいよ地元応援団の声を背にグラウンドへ。緊張が一番高まる一瞬です。

定刻の午前9時30分、44チームの入場行進が始まり、次に選手宣誓。この後競技開始の号砲と共に、規律とタイムとの戦いがスタートしました。選手の中には競技終了後、感極まって涙ぐむ人も出るなど、今大会も操法競技の厳しい一面を垣間見る思いでした。

選手及び関係者の皆様、そして地元応援団の皆様大変お疲れ様でした。
(防災九州/田中)



“ボートフェスティバル”秋の競

東と西で

横浜

『横浜ボートフェア2011
in 横浜ベイサイドマリーナ』

秋恒例のマリン業界一大イベント『横浜ボートフェア2011』が、去る10月14日、横浜ベイサイドマリーナ特設会場でオープン。海上・陸上の両展示場に分かれて設けられた2つの会場では、16日までの3日間、熱い商戦を展開しました。とりわけ集客増を狙った事前PRのDM送付作戦が功を奏し、この日を待ち焦がれた沢山のユーザーがDM持参で続々来場。オープン2日目、悪天候に見舞われたものの昨年を大幅に上回る入場者数を記録した一方、ボートメーカー各社の売り込みも昨年を上回る熾烈さを加えました。

トーハツでは、発売以来フィッシングファンなどから根強い人気を維持している「マーベラス21α」艇に、モデルチェンジした「MD90C2エンジン」を搭載して展示。このマッチングが受けて評価が更にアップし試乗希望者が続出。しかしこの度は、海上展示のみのため残念ながら試乗はお預け。希望者はトーハツのパイロット指定店「勝どきマリーナ」が、10月29日・30日に実施するボート試乗会へご案内させて頂きました。

一方、陸上展示会場のスモール・ボートコーナーでは、湘南高圧タンク、アキレスの両メーカーのご好意により、展示ボートにトーハツの4ストロークエンジン「MFSシリーズ」を搭載させて頂いた他、展示もさせて頂くなど、おかげで効果的なPRを展開することができました。ご協力頂きました両社には、誌上から厚くお礼申し上げます。
(マリン課/石丸)



商談も燃焼!

『関西フローティングボート』

マリンレジャー基地として著名な新西宮ヨットハーバーで、去る9月30日から10月2日までの3日間、恒例の関西フローティングボートショーが催されました。海上展示場、陸上展示場に分けられた会場は、この日を待ち侘びたボートファンで大賑わい。ちなみに会期中の入場者数は延べ4500



人を突破。今や同ヨットハーバーは、レジャーボートの情報発信基地として大きな機能を果たしています。

今回トーハツが海上展示したボートは、フィッシングが気軽に楽しめる「マーベラス21α」。搭載エンジンは





トーハツポンプ中央会 セールス研修会を実施

トーハツポンプ中央会が主催する「平成23年度トーハツポンプセールス研修会」が、去る11月8日・9日の両日、トーハツ本社内で行われました。開会に当たり同ポンプ会・藤松会長が挨拶し、参加者27名を激励。研修会はスタートしました。

講習内容は、例年同様に4項目の中から2項目を選択する方法で実施。その中でも、とりわけ重視したのがトラブルシューティング。実際に起こりえる不具合を事前にポンプに仕組み、受講者が不具合状況やその原因を実践によって解決していく内容で、大変好評でした。また初日の夜には、懇親会も開かれ情報交換や親交を深めるよい機会でした。

翌日、いよいよ2日間の研修を終えて、次は閉会式。トーハツ(株)小山本部長より「修了証」を手渡され、めでたく閉会となりました。このたび習得した技術を活かし、更なる拡販・活躍を期待しております。

ご多忙の中ご参加頂いた皆様には、厚くお礼申し上げます。
(防災営業部/小鷹)



九州・山ローターハツポンプ会が 技術講習会

九州・山ローターハツポンプ会では、販売促進の一環として現場で活かせる簡単なテクニックを身につけてもらおうと、去る11月28日・29日の両日、福岡市にある福岡サンパレスホテル内で技術講習会を開催。好評を博しました。

講習内容は、ポンプの操法要領とトラブルシューティング。先ず操法要領では、ポンプ別の特徴に合わせた操法が求められるため、実際に水出し体験を交えながらの講習を実施。またトラブルシューティングでは、予め不具合箇所を設けたポンプ3台を用意。受講者がその不具合箇所を探し出し、自力で正常に戻す作業を実践しました。これには受講者の皆さんもさすがに悪戦苦闘。しかし最後は無事正常に戻すことができ、思わずほっと胸を撫で下ろすシーンもありました。

講習会を終えて受講者の感想を聞いてみますと、「実際の現場ですぐ役に立つ」と答えてくれた方々が圧倒的に多く、中身の濃い内容だったと絶賛されていました。ご参加頂いた特約販売店の皆様、大変お疲れ様でした。
(防災九州/田中)



兵庫県の消防団員を対象に 消防ポンプ機関員講習会を開催

兵庫県では、県下の消防団員にもっと消防ポンプに精通し親しんで貰おうと、去る11月26日、兵庫県消防学校に約100名程の団員を招いて「機関員講習会」を実施しました。日頃使い慣れた消防ポンプではあっても、構造や機能面などになるとなかなか研修する機会がありません。そこで開講されたのが、このたびの講習会です。

午前中は教室内での座学が中心で、ポンプの構造と仕組み、使い方などを研修。午後の部では、同校の運動場で実際にポンプを使ってメンテナンスの教習や中継送水の訓練も行いました。最近各地で雨災害が多発しているた

め、洪水時に消防ポンプで排水した事例などを基に、緊急時の状況や対応策なども研修する貴重な内容でした。また「VF53AS」を使っでの送水では、同モデルの操作性や低騒音性が消防団員の関心事となっていたのには驚きました。

講習会の最後の締めくくりは、講師と消防団員との意見交換。団員の積極的で活発な発言が目立つなど、防災意識の高さに感激しました。
(防災関西/田村)



演

マーベラス21αの 魅力をアピール!

ショー2011

関西



クリーン＆エコノミーの直噴「MD90C2」。このマッチングの魅力が、フィッシングの醍醐味を一層際立たせてくれます。

一方、陸上展示場には、トーハツならではの完成度の高い低馬力船外機をメインに展示。今回の出展社数(39社)の大幅増加とあいまって、多数の販売店やユーザーがトーハツ・ブースに来場。従来の2サイクルから受け継がれた軽快なレスポンスと

静粛性が、多くの来場者を魅了。おかげ様で多数の販売店様から、船外機などの当日注文を頂きました。

またその他のイベントでは、いま話題のイカ先生によるエギング講習会などが行われ、座席が足りなくなる程の盛況ぶり。今年も花も実もある有意義なボートショーでした。ご協力頂いた地元販売店様には、誌上より厚くお礼申し上げます。

(マリン関西/福松)

“マーベラス21α” ベイ・エリア快走!

勝どきマリナーで秋の試乗会

勝どき

都内にあるトーハツ・パイロット指定店「勝どきマリナー」で、去る10月29日・30日の両日、“マーベラス21α”秋のボート試乗会が実施されました。

この日来場されたお客様の中には、同月14日から3日間開かれた「横浜ボートフェア2011」で、既に品定めを済ませて試乗に訪れたユーザーや、マーベラス21αに魅了され期待に胸を膨らませて足を運んで下さったフィッシングファンなど様々。試乗の際には係員の説明に真剣に耳を傾けていました。

試乗艇マーベラス21αは、マイナーチェンジにより最大搭載出力をアップし、MD90C2エンジンをセットしたことで、TLDI独特の加速性能に更に磨きがかかり、秋の爽やかな潮風を存分に味わって頂けました。

今回の試乗コースは、勝どき橋やレインボーブリッジなど東京ベイ・エリアならではの好ロケーションを楽しめるポイントとあって、沢山のユーザーが試乗を楽しまれました。来るべき来シーズンに向け、マイボートの感触を実感して頂けたようです。

この度の試乗会開催に際し、多大なご協力を頂きました勝どきマリナー様には、誌上より厚くお礼申し上げます。

(マリン関東/飯島)



東京都
江戸川区の

桑川親和会へ 「VF63AS」搭載の 積載車納入



環境に優しい4ストロークエンジンポンプ「VF63AS」搭載の積載車が、

去る10月26日、東京都江戸川区の葛西消防団「桑川親和会」へ納入されました。

同積載車は、ホースカー昇降用リフトを装備。また外装にもこだわりがあり、夜間の訓練や活動時の照明なども充実。消防署の消防車両に引けをとらない仕様です。この地域は、町会による財源で消防車両を購入するという全国的にも珍しく、従って消防活動等に対する住民の関心は強く、日々行われる消防団の訓練にも熱意がこもっています。

後日、披露式典も催され、総勢100人を超える参加者があり、盛大に執り行われました。なお新積載車納入に伴い、旧車両は桑川親和会より東日本大震災の被災地・陸前高田市へ寄贈され、引き続き同市で防災に寄与することになりました。

この積載車を地域防災のシンボルとして、桑川親和会様の安全とご発展を祈念いたすと共に、改めて厚くお礼申し上げます。(防災営業部/小鷹)

和歌山市へ「VF53AS」搭載の 軽積載車一括納入



和歌山市消防局へVF53AS搭載の軽4トラック型積載車5台が一括納入され、それに伴う納入式典が、去る11月22日、盛大に執り行われました。和歌山県では、那智勝浦地方が今夏の台風で甚大な被害を被ったばかり。防災に対する市民の関心が高まっている最中での納入となりました。

式典には和歌山市長をはじめ、消防団長、消防分団員の皆さまが多数出席し安全を祈願。この後、機器の説明やポンプの試運転なども実施され、相変わらず4sポンプ「VF53AS」のエンジン音の静粛さが評判を呼んでいました。

この度トーハツ軽積載車をご採用頂きました和歌山市、及び販売にご尽力下さった(有)和歌山防火協会様には、誌上より厚くお礼申し上げます。

(防災関西/山口)

三輝物産(株)ご一行が 駒ヶ根工場を見学

熊本県でトーハツポンプ特約販売店を営む三輝物産(株)のご一行13名が、去る9月8日、2泊3日の研修旅行を兼ねて、トーハツの駒ヶ根工場見学に訪れました。この度の訪問は、同社が扱う主力商品であるポンプの製造現場を、一度見てみたいと言う社員の強い要望から実現したそうです。

駒ヶ根工場の職員から大歓迎で迎えられたご一行は、早速係員の案内で工場の概要や、写真を基に全体像を把握してもらうことからスタートしました。

見学は、コースに沿って先ずトーハツマリン(株)内のポンプケース、インペラ製造工程、次にポンプ組立てライン、運転場、TDCなど主要部分を中心に充実した最新設備を時間をかけて見ていただきました。ご一行の皆様が、普段販売している消防ポンプの「飾らない素顔」に触れることで、更に商品への愛着度が増して頂ければ幸いです。

見学を終えて、工場職員との質疑応答を交えながら親しく意見交換。大いに親交を深めました。この後ご一行は、次の旅程に沿って全員元気に旅立ちました。三輝物産(株)の皆様、大変お疲れ様でした。(防災九州/田中)



岐阜県下の消防団幹部 トーハツ駒ヶ根工場 を見学

長良川の鶏飼、世界遺産の白川郷などで知られる岐阜県下の消防団幹部37名様が、去る10月25日、同県消防協会の引率でトーハツ駒ヶ根工場を見学されました。

岐阜県は、小型ポンプ操法の盛んな地域だけあって、とりわけポンプ組み立て工程や運転場には興味津々。ご一行は、案内の係員と共に質問など交えながら熱心に見学。また合間には操法大会の話に花が咲くなど、和気あいあいの見学会でした。見学を終え、くつろいだご一行からは「いい勉強になった」、「ポンプに愛着が湧いた」、などの感想を頂戴。大変ご満足して頂けたようです。

この度の見学会に心から感謝申し上げると共に、次の操法大会ではトーハツポンプでの全国制覇を願い、ご健闘をお祈り申し上げます。

(防災中部/福田)





トーハツポンプ中央会では、去る11月23日、千葉県成田市にある「日航ホテル成田」で秋期総会を開催。翌24日、一行はベトナム消防視察を兼ねた研修旅行に旅立ちました。

秋期総会では、同中央会の藤松会長、トーハツ(株)小山営業本部長の挨拶の後、今年度における事業報告、来年度の事業計画、並びに業界の現況報告などが行われて総会を終了。同ホテルに一泊したご一行は、翌朝、ハノイに向け3泊4日の消防視察旅行に出発しました。

ハノイ到着後、ご一行がまず吃驚したのが経済発展

の目覚めと市民の活気。そしてオートバイの多さ。更に日本では考えられない交通ルール?に圧倒されるおまけ付き。また主目的の消防大学の視察では、広い会議室に通されベトナムの消防事情などの説明を受けた後、構内を見学。次にハノイ地区の消防署を視察。同国の防災状況を知る上で大変有意義でした。ご協力頂いた吉越物産(株)様には厚くお礼申し上げます。

一方観光面では、ホーチミン氏のお墓であるホーチミン廟や世界遺産のハロン湾クルーズなどを楽しんだ後、ベトナム料理を満喫。全員で満悦の体で帰国の途に着きました。皆様大変お疲れ様でした。

(防災営業部/小鷹)

トーハツポンプ中央会 秋期総会後 ベトナム・ハノイへ消防視察旅行

北海道トーハツポンプ会 総会開催



第20回北海道トーハツポンプ会総会が、去る11月7日、紅葉真っ盛りの中、札幌パークホテルで開かれました。

総会の始まる前のひとときを、会員どうしテーブルを囲んでの昼食会。穏やかなムードで歓談を楽しみつつ情報交換で親交を深めました。総会では、同ポンプ会の八木会長をはじめ、トーハツ(株)金子社長、(株)北海道モリタ開社長の挨拶の後、東日本大震災後の状況や業界の近況が報告されました。次に質疑応答に移り、会員による活発な意見交換が行われた後、総会は定刻閉会しました。

会員の皆様並びに事務局の(株)北海道モリタ様には、ご多忙の中ご出席賜り厚くお礼申し上げます。

(防災営業部/小鷹)

今あらゆる分野から注目されている危機管理産業展が、去る10月19日から21日までの3日間、今年も東京ビックサイトで催されました。この展示会は「防災」などに限定されたものではなく、「防犯・リスク管理」と言った広い分野

にも関わる最先端の危機管理対策を網羅した催しです。今回は東日本大震災の影響で、「耐震・放射線」といった災害に関わる分野が注目されました。ちなみに期間中の入場者は63,274人を突破。昨年度の約2.6倍の盛況ぶりです。

トーハツでは、救急・救助などに関わる様々な機材を展示した他、消防団、自主防災組織、福祉関係者など多方面の方々へアピールできるようにとの意図から、消防ポンプは関連性の深いVF63AS、VF21AS、V10G、GH140AM

最先端を行く『危機管理産業展』 “関心度” 飛躍的に上昇



の4モデルを展示。また救助資機材では、海上保安庁も採用していただいております水中探査装置や救助破壊工具、バイタル測定器セット、業務用発電機など、多様な資機材を展示しました。

おかげでトーハツ・

ブースには、消防関係者をはじめ民間企業の危機管理防災担当者や自主防災組織の関係者まで、幅広いお客様が来場。またトーハツの特約店様も多く立ち寄られ、最新の資機材について早速デモの要望を頂くなど、大変有意義な展示会でした。遠路ご来場頂いたユーザーの方々、及び販売店の皆様方には厚くお礼申し上げます。

(防災営業部/手島)



“腐食”のメカニズムに挑戦!

第2回『中部地区サービス パイロット店技術講習会』

ゆるキャラ『ひこにゃん』で知られる滋賀県彦根市で、去る10月5日・6日の両日、船外機の第2回中部地区サービスパイロット店技術講習会が開催されました。

この度のテーマは“腐食のメカニズム”。この難題中の難題に挑んだのは、同地区全8店のうち7店、10名の勇者。実験を交えた座学をメインに、海外での腐食実例の解説や質疑応答を織り込みながらの進行は、腐食の問題に対する真剣な対応ぶりが窺えます。テーマ上内容も専門的要素が多くなり、決して簡単に理解できるものではありませんが、日常の販売活動・メンテナンス等に密接に関わってくる事から、受講態度も真剣そのもの。受講者の方々から「非常に興味深い内容だった」、「すごく有意義だった」等々、受講後の感想が聞かれました。

一方夜の懇親会では、難解な講義から開放されて全員リラックスタイム。終始和やかムードで親交を深め合うなど、各パイロット店どうの関係も良好。席上受講者からは、これからも3回、4回と講習会を継続して欲しい、との声が出るなど、今後のトーハツ・マリン製品の拡販に、大いに期待と信頼を抱かせる盛況ぶりでした。

この度ご参加頂いた中部地区パイロット店様には、心より感謝いたすと共に誌上より厚くお礼申し上げます。
(マリン中部／菊谷)



パイロット店の精鋭 唐津に集結! 九州で『船外機パイロット店向け技術講習会』



佐賀県下第2の都市・唐津市は、唐津藩の城下町がその前身。秋季例大祭の唐津くんち、虹の松原などで知られ、とりわけ“呼子のイカ”は鮮度抜群の名産品。この環境に恵まれた唐津市で、去る11月7日、第2回トーハツ・パイロット店向け技術講習会を実施。佐賀県下のトーハツ・パイロット指定店「居石(おりいし)マリン商会」様のご協力を得て、山口、九州、沖縄の各県パイロット店12社の精鋭が同商会に集結しました。

この度のお題は“腐食”。腐食と言っても内容は様々。種類、メカニズム、対処法等々に至るまで、詳しく研修することで内容も充実。電位差?元素記号?等々、むかし勉学に勤しんだ頃の受験勉強さながらの技術講習会です。しかし時折行方実験では、座学の重苦しい雰囲気?もすっ飛び、興味津々といった様子で身を乗り出す受講者も見られました。

また最後の仕上げは夜の懇親会。玄界灘で獲れたての海の幸に、舌鼓を打ちつつトーハツ談議に花が咲き、気分は一気に最高潮。今後の船外機販売からメンテナンスまで、まさに大船に乗った気分さえしてくれる最高の技術講習会でした。

ご参加頂いたパイロット店の皆様、大変お疲れ様でした。また開催に際しご協力頂きました居石マリン商会様には、誌上より厚くお礼申し上げます。
(マリン九州／藤川)



発行

〒174-0051 東京都板橋区小豆沢3-5-4

TEL (03) 3966-3116 / FAX (03) 3966-0090

トーハツ株式会社

トーハツパートナー編集局

編集兼発行責任者 日向 勇美／青山 滋